

小林 秀彦

日本共産党

震災瓦れきの受け入れ

質 能代市は東日本大震災で発生した瓦れきについて、能代バイオマス発電所で焼却処理を受け入れる方向だが、市民の一番の不安は放射性物質の拡散、汚染である。安全対策は。

答 放射性物質の拡散・汚染に対する安全対策については、市が協力を表明している「柱材・角材」の取り扱いが未定であることから、会社側との調査や安全対策について話し合いをすることろまでは至っていない。

庁舎整備

質 私は、議事堂は議場として改修して活用すべきと考えているが、市の方針は変わらないのか、お聞きする。

答 市としては、これまでの庁舎整備特別委員会での意見等を踏まえ、また、市民の利便性や議会機能の充足度、後年度負担、庁舎の防災拠点機能の強化等の観点から総合的に判断し、議事堂は議場としては活用せず、新庁舎に議場を整備する方針を固めたものであり、この方針は変わっていない。

その他の質問事項

○指定管理者制度

○太陽光発電等の公共施設への導入

富 貞一郎

市民連合

風の松原の保全

質 風の松原連絡協議会で、現在最終案になるであろう「白砂青松を感じられるエリア」の設定について、市として本気で取り組むつもりがあるのか。

答 平成23年3月発足の「風の松原連絡協議会」で「白砂青松を感じられるエリア」の候補地として市道萩の台線沿線にコアゾーンとバッファゾーンそれぞれ1ヘクタールを検討しているが、保安林としての第一義的役割に支障がないか、また維持管理する市民組織も定まっていない等、解決すべき課題が残っている。

再生可能エネルギー

質 7月から「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」がスタートするが、災害時にエネルギーを自給できる基盤の確保ができるのか、具体的に説明してほしい。

答 一般家庭への電力供給は電力会社のみが行えるが、発送電分離や次世代送電網に再生可能エネルギーや省エネルギー設備等を加えて、一括整備する社会システム等が整えば、エネルギーの自給や災害時の対応は可能になると考え動向を見守りたい。

その他の質問事項

○イオン出店問題

議員の出席状況

議席番号	議員名	6月定例会 (6月6日～6月21日)		協議会等 (4月18日～7月17日)	
		出席回数	欠席回数	出席回数	欠席回数
1	松谷福三	6	1	16	1
2	後藤 健	7	0	11	0
3	信太和子	7	0	19	1
5	針金勝彦	7	0	16	0
6	渡辺優子	7	0	27	0
7	菅原隆文	7	0	14	0
8	伊藤洋文	7	0	23	0
9	穴山和雄	7	0	2	0
10	菊地時子	7	0	25	0
11	小林秀彦	7	0	4	0
12	藤原良範	7	0	13	0
13	武田正廣	7	0	9	0

議席番号	議員名	6月定例会 (6月6日～6月21日)		協議会等 (4月18日～7月17日)	
		出席回数	欠席回数	出席回数	欠席回数
14	庄司紘八	7	0	14	0
15	田中翼郎	7	0	3	0
16	安岡明雄	7	0	18	0
17	富貞一郎	7	0	4	0
18	中田 満	7	0	0	0
19	高橋孝夫	7	0	2	0
20	竹内 宏	7	0	4	0
21	薩摩 博	7	0	19	0
22	山谷公一	7	0	2	0
23	藤田克美	7	0	2	0
24	渡辺芳勝	7	0	8	0
25	富山一男	7	0	1	0
26	柳谷 渉	7	0	3	1

※ 6月定例会における議員が出席すべき回数は、全議員が本会議5回、各常任委員会が2回でした。
 ※ 協議会等に出席すべき回数は議員によって異なっております。
 【4月18日～7月17日までに開催された対象となる協議会等は(会派代表者会議2回、議会運営委員会12回、庁舎整備特別委員会4回、正副委員長会議1回、議会運営委員会協議会3回、文教民生委員会協議会2回、環境産業委員会協議会1回、建設委員会協議会1回、議会だより編集委員会4回)でした。】